

純潔の旗風の下

尾道市立久保中学校
学校だより
平成30年7月20日(金)
第5号

強い心をもち仲間とともにチャレンジする生徒の育成!
～あなたが久保中ドラマの主人公～

豪雨災害そして、一学期終業式を迎えて

この度の西日本豪雨災害では土砂災害・家屋の崩落・幹線道路の寸断・断水と私たちの生活に大きな被害がでました。被災された方々に対しまして、心からお見舞いを申し上げます。

さて、校区内では2箇所の崖崩れが発生し、通学路の復旧と校区内の生活水の確保ができるまで臨時休業としていましたが、その後復旧が進み17日(火)から登校を開始しています。生徒の安否を確認し、久々に元気な生徒を見ることができ、ほっとしています。現在PTAと教職員で通学の安全指導を実施しています。夏季休業中もしばらく教職員で登下校を見守る予定です。



今回の豪雨災害を教訓にして学ぶこと

災害が発生したら「自助・共助・公助」の行動をとれるよう、防災教室を行っています。先日も尾道市防災マップに自分の家を書き込みどんな災害が起こりやすいかちょうど学習したところでした。

「特別警報」は、重大な災害の危険性が非常に高いと予想されるとき、つまり50年に1度あるかなんかの現象が起きる可能性がある場合に出されます。災害はいつどこで起こるかはわかりません。各家庭で命を守る行動をとる準備が出来ていたかどうか検証をしてみたいでしょうか。

○緊急時に持ち出せる防災グッズ(断水でトイレ・洗濯が不便でした)

○避難場所の確認(第1避難場所は人権文化センター・久保中は今回開設されませんでした。)

○ハザードマップ(住んでいる地域はどんな災害が起こりやすいのかを知り、逃げ方を考えていたか)

○家族間の連絡方法、災害時のネットワーク(常に新しい情報を知り、適切に判断していたか)

ほかにもたくさん振り返ってみて思うことがたくさんある事でしょう。これから長期間の休みに入ります。家族でしっかりこんな時どうするかを確認してみてください。最優先に考えることは、災害時に誰とどんな行動をするか、そのため普段からどんなことに気をつけ、準備をしておくかです。学校内では生徒の安全を第一に考え教育委員会・近隣の小中学校や地域や各施設と連絡をとり、色々な判断をさせていただきました。連絡や取組等十分なものではなかったかもしれませんが、今回のことを教訓に迅速に行動できるよう体制を整えていきたいと思えます。

夏季休業中の授業日について

この度の臨時休業での授業数確保のため次の日を授業日とします。詳細は別案内文をご覧ください。

○1, 3年生(午前中4時間)

7月31日(火)・8月3日(金)・6日(月)・24日(金)・28日(火)～31日(金)

○2年生(午前中4時間・職場体験中は6時間)

7月31日(火)・8月3日(金)・8月6日(月)

8月22日(水)～24日(金)・8月27日(月)～31日(金)

図書券をいただきました。

地域の方が先日来校され、本をしっかり読んでほしいとたくさんの図書券を寄贈してくださいました。図書館司書の先生と相談し、使わせていただきます。ありがとうございます。

